



# バラクルード®錠を 服用される患者さまへ

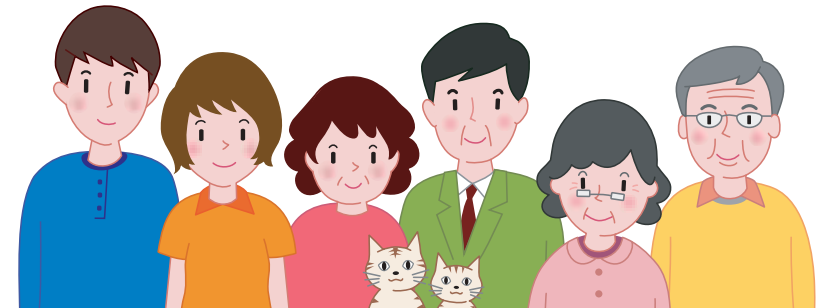
日型慢性肝疾患における、バラクルード®錠を使った治療の解説

監修：虎の門病院 副院長 熊田 博光



医療機関名

主治医名



製品に関する問い合わせ先



**プistol・マイヤーズ株式会社**

東京都新宿区西新宿6-5-1

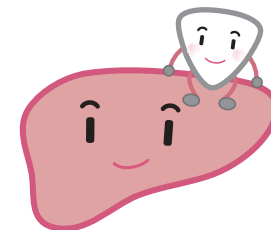
メディカル情報サービス部 TEL 0120-093-507

はじめに .....	2
B型慢性肝疾患とは .....	3
この薬のはたらき .....	4
この薬の飲み方 .....	5
この薬の副作用 1 .....	6
この薬の副作用 2 .....	7
Q&A .....	8
定期検査について .....	9
検査項目について 1 .....	10
検査項目について 2 .....	11
日常生活で気をつけること .....	12
B型肝炎ウイルスの感染経路 .....	13
母子感染を防止する方法 .....	13
肝炎.netのご案内 .....	14

B型慢性肝疾患とは、B型慢性肝炎とB型肝炎硬変を指します。これらは、B型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。バラクルード<sup>®</sup>錠はB型肝炎ウイルスが肝臓の中で増えるのを抑え、肝臓の機能を改善させる飲み薬です。しかし、ウイルスを完全に体から追い出すことはできないため、自分の判断で薬をやめたりすると、体に残っているウイルスが再び増えはじめ、症状が悪くなってしまいます。そのため、先生の指示に従いきちんと薬を飲むようにしてください。また、治療中や、治療が終わった後もしばらくの間は、先生の指示に従い定期的に肝臓の検査を受けてください。

この冊子では、バラクルード<sup>®</sup>錠による治療を患者さまが安心して行うことができるよう、薬を飲むときに気をつける点、あらわれる可能性のある副作用、日常生活で気をつけることなどをまとめています。少しでも体に異常を感じた場合や、不安なことがある場合は、主治医の先生、または看護師や薬剤師などの医療スタッフに遠慮なく相談をしてください。

虎の門病院 副院長 熊田博光



# B型慢性肝疾患とは

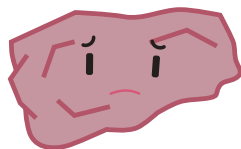
B型慢性肝疾患とは、B型慢性肝炎とB型肝炎硬変を指します。これらはB型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスは、人に感染すると肝臓の細胞（肝細胞）に入り込み、増えます。ウイルスは人にとって異物のため免疫機能が働き、体から追い出そうとします。しかし免疫機能は、肝細胞の中にあるウイルスだけを狙って攻撃することができないため、肝細胞ごと攻撃します。このとき肝細胞が破壊され、炎症が起き、肝炎となります。

## B型慢性肝炎とは

6か月以上肝炎が続いている状態を指します。一般に、慢性肝炎の症状は、症状がないか、“疲れやすい”、“食欲があまりない”など軽いため、自分で慢性肝炎に気づくことはほとんどありません。しかし、検査を行うと肝臓の機能が悪くなっていることがわかります。

## B型肝炎硬変とは

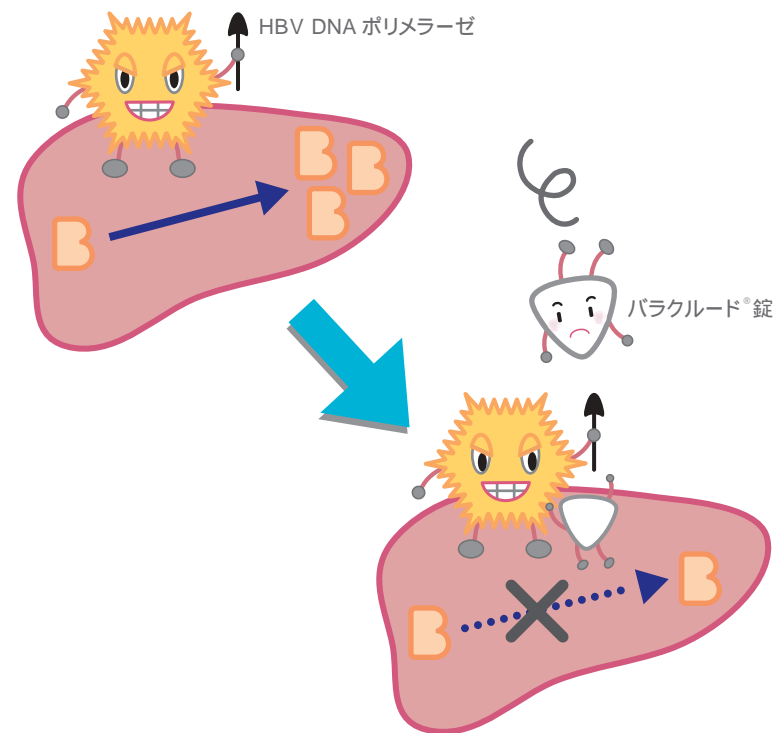
慢性肝炎になると、炎症のひどい肝細胞は死んでしまいます。しかし、肝細胞は再生してきます。細胞の再生が間に合わないと、その部分にコラーゲンでできた線維が作られ肝臓の形を保とうとします。この線維が増えてしまうと、肝臓は硬くなりゴツゴツとした外見の臓器となります。また、正常に機能する肝細胞が減るため、肝機能が低下します。この状態が肝硬変です。



# この薬のはたらき

バラクルード<sup>®</sup>錠は、B型肝炎ウイルスが増える際に必要となるタンパク質（HBV DNAポリメラーゼ）の働きを邪魔する作用があるため、ウイルスが増えるのを抑え込みます。

## B型肝炎ウイルスが増えるのを邪魔する バラクルード<sup>®</sup>錠（イメージ）



# この薬の飲み方

**1日1回1錠、空腹時に飲んでください。**

\* ラミブジンという薬を服用していて肝炎のコントロールができなくなってしまった患者さんは1日1回2錠が基本です（先生の指示に従ってください）

**注意**



必ずシートから出して飲んでください。

飲み忘れないようにしてください。

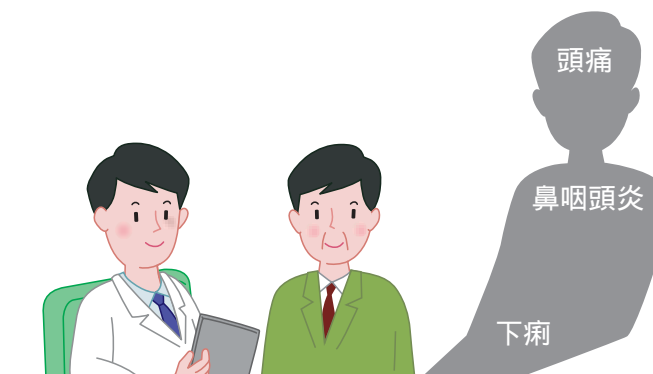
飲み忘れたり、自分の判断で薬をやめたりすると、体に残っているウイルスが再び増えはじめ、症状が悪くなってしまうことがあります。  
飲み忘れてしまった場合：Q&A(P.8)を見てください。

# この薬の副作用 1

バラクルード<sup>®</sup>錠の服用により、次のような副作用があらわれることがあります。



これら以外にも、体に異常を感じた場合には、すぐに先生に相談しましょう。



次のような方は、バラクルード®錠を飲む前に必ず先生に相談してください。

- 前にバラクルード®錠を飲んで、アレルギーなど過敏症が出たことのある方
- そのほかの薬で、アレルギーなど過敏症が出たことのある方
- アレルギー体質の方
- 妊娠している方、妊娠の可能性がある方\*
- 妊娠または子供を持つことを希望している方\*
- 授乳中の方
- 腎機能に障害がある方  
(場合によっては飲む量を調節します)
- 肝移植を受けた方
- 非代償性肝硬変の方
- ほかの薬を飲んでいる方

\* 赤ちゃんに影響を及ぼす可能性があります。服用中および服用終了後8週間は妊娠を避けてください。使用する場合は、先生とよく相談をしてください。



Q

飲み忘れた場合、どうしたら良いですか？



A

バラクルード®錠を飲み忘れてしまった場合、気づいたときにすぐ飲んでください。例えば1回飲み忘れた場合、次の服用時に2回分の量を飲んだりしないでください。飲み忘れた分は、先生に報告してください。



Q

まちがって多く飲んでしまった場合や、他の人がまちがって飲んでしまった場合、どうしたら良いですか？



A

気づいたときに、すぐに先生に連絡してください。



Q

どのようなところに薬を保管したら良いですか？



A

バラクルード®錠は湿気を避けて室温で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。たとえ同じ病気の人でも、絶対に薬をあげたりしないでください。

# 定期検査について

B型慢性肝疾患は、どのような経過をとるのか判断が難しく、たとえ体調が良くても知らないうちに病状が悪くなるケースもあります。しかし、定期的に肝臓の検査を受けることで、肝臓に異常が生じていないかを確認することができ、早期発見・早期治療につなげることができます。

バラクルード<sup>®</sup>錠の治療を中止した後、良くなっていた肝炎が再び悪くなることもあります。そのような場合にすぐに治療を開始できるよう、先生の指示に従って、定期的に肝臓の検査を受けるようにしてください。

薬を飲んでいる間は先生の指示に従い、定期的に検査を受けてください。  
薬を中止した後も、数ヵ月間は先生の指示に従い検査を受けます。

定期検査に行きましょう!



# 検査項目について1

血液を採って、検査を行います。  
検査項目には、次のようなものがあります。

## ALT(GPT)

肝臓の中で働く酵素です。肝臓の細胞(肝細胞)が壊れると、血液中に出てきます。値が大きくなるほど、多くの肝細胞が壊れていることを示します。

## HBV DNA量(B型肝炎ウイルスのDNA量)

HBV DNAとはB型肝炎ウイルスの遺伝情報が書き込まれている設計図のことです。値が大きくなるほど、体の中にたくさんのウイルスがいることを示します。また、検査値が陰性(-)というのは、ウイルスがある一定の数以下になったことを示しており、体の中からまったくいなくなったことを示しているわけではありません。

## HBe抗原

体の中の、ウイルスや細菌などの異物を“抗原”といいます。HBe抗原は、B型肝炎ウイルスが増えるときにたくさんつくられるタンパク質のことです。この抗原があるということは、ウイルスが体の中で活発に増えている状態で、感染力が強いことを示します。

## HBe抗体

ウイルスや細菌などの異物(抗原)が体の中に入ってきたとき、これを攻撃するためにつくられる物質を“抗体”といいます。HBe抗体は、B型肝炎ウイルスがつくるHBe抗原に対してつくられた抗体です。この抗体があるということは、ウイルスの量が減っていて、感染力が弱いことを示します。

HBe抗原が陰性(-)となり、HBe抗体が陽性(+)になることをセロコンバージョンといいます。免疫機能によってウイルスの活動が抑え込まれる状態で、肝炎が沈静化します。しかし実際には、セロコンバージョンが起きた後もウイルスが増え続ける人がいることがわかってきました。このように、B型慢性肝疾患はどのような経過をとるのか判断が難しいため、たとえセロコンバージョンが起きた後でも、定期的に肝臓の検査を受けるようにしてください。



B型肝炎ウイルスは、血液や体液を介して感染します。空気や食べ物で感染することはありません。したがって、同じ食器を使う、握手をするなどの日常的な行動で感染することはありません。ご自身の血液や体液が直接または間接的に他の人につかないよう注意をすれば、日常生活の場での感染の危険性はほとんどありません。具体的には以下の項目を守るようにしましょう。

- 1 献血は絶対にしない。
- 2 歯ブラシ、ひげ剃りなどの血液が付着する日用品は個人専用にする。
- 3 他の病気で病院に行ったとき、また歯科治療の際は、医師にB型肝炎であることを告げる。
- 4 出血したときは、できるだけ自分で手当をし、血液のついたものはむき出しにならないよう包んで捨てるようにする。また、他の人に手当てをしてもらう場合は、手当てをする人に血液や分泌物がつかないように注意する。
- 5 トイレの後は、流水でよく手を洗う。
- 6 乳幼児に口うつしで食べ物を与えない。
- 7 性交渉で感染するため、パートナーには事前に説明し、パートナーがB型肝炎ウイルスに未感染の場合は、B型肝炎ワクチン(HBワクチン)を接種してもらうようにする(コンドームでも防げますが、絶対に安全というわけではありません)。

注意)B型肝炎ウイルスは血液や体液を介して感染します。バラクラード®錠を飲んでいても他の人に感染させる危険性がなくなるわけではありません。



## B型肝炎ウイルスの感染経路\*

昔は、母子感染が主な感染経路でしたが、今は防止策がとられています。現在では、B型肝炎ウイルスの性交渉による感染が問題となっています。若い年齢層を中心に、性交渉による感染の報告数が多くなってきています。



## 母子感染を防止する方法\*

B型肝炎ウイルスの母子感染を防止するためには、うまれてきた赤ちゃんに、B型肝炎ウイルスに対する抗体を含む高力価HBsヒト免疫グロブリン(HBIG)やB型肝炎ワクチン(HBワクチン)を注射することが必要です。これらの感染防止策によって、ほとんどの母子感染を防ぐことができます。

\* 肝炎.net にさらに詳しい解説が載っています(P.14 参照)。

## 肝炎.netのご案内

肝炎.netは、ウイルス肝炎の1つであるB型肝炎に関する情報提供を目的にしています。インターネットが普及し、肝臓病や肝炎に関するサイトが数多くある中で、このサイトではB型肝炎を中心に情報提供を行っています。B型肝炎を詳しく解説した「疾患情報」、肝機能検査やウイルスマーカー検査などの「検査値の読み方」、医学用語をわかりやすく解説した「肝炎辞典」などを掲載しています。

また、慢性肝炎にかかり、療養生活を送っている患者さんやそのご家族のために、日常生活の注意点や暮らしに役立つ生活情報をご紹介します。病気とうまく付き合っていくためにお役立ていただければ幸いです。



ホームページのアドレス

<http://www.bkanen.net/>